

2023年

2月7日(火)

18時15分開場

19時00分開演

東京オペラシテイ
リサイタルホール

25th
Anniversary

Tokyo Opera City
Concert Hall (Reina Hall)

東京都新宿区西新宿3-20-2
<https://www.operacity.jp/concert>

〔最寄駅〕
京王新線「初台」駅東口から徒歩5分

〔出演者〕

- ・上里 はな子 / ヴァイオリン
- ・ビルマン 聡平 / ヴァイオリン
- ・鈴木 康浩 / ヴィオラ
- ・マルモ・ササキ / チェロ

〔プログラム〕

- ・F.J.ハイドン / 弦楽四重奏曲
第77番 ハ長調「皇帝」作品76-3
 - ・F.メンデルスゾーン / 弦楽四重奏曲
第3番 ニ長調 作品44-1
 - ・F.シューベルト / 弦楽四重奏曲
第14番 ニ短調 D810「死と乙女」
- ※曲目、曲順は変更となる場合がございます

入場無料
(要予約)



公益財団法人

国際音楽芸術振興財団

VIOLIN

弦楽四重奏 コンサート

—悠久の室内楽—

QUARTET



HANAKO UESATO

上里 はな子 (ヴァイオリン)



SOHEI BIRMAN

ビルマン 聡平 (ヴァイオリン)



YASUHIRO SUZUKI

鈴木 康浩 (ヴィオラ)



MARUMO SASAKI

マルモ・ササキ (チェロ)

©atsushi yamaguchi

《お申込・お問合せ》
<https://www.imusic-apf.org>





Hanako Uesato
上里 はな子
(ヴァイオリン)

2歳よりヴァイオリンを始め、史上二人目となる全日本学生音楽コンクール小学生の部・中学生の部全国第1位、第63回日本音楽コンクール入選、バガニーニ国際ヴァイオリンコンクール第5位。ヤッシャ・ハイフェッツ国際ヴァイオリンコンクール第2位。現在までの日本人唯一の入賞者である。桐朋女子高校音楽科に首席で入学。1995年ウィーン国立音楽大学に首席で入学、8年間学び首席で卒業後帰国。帰国後はリサイタルや室内楽等のかたわら、各地のマスタークラスにて後進の指導にも力を入れている。松本和将（ピアノ）、向井航（チェロ）とのピアノトリオで全国ツアー、また齊藤一郎指揮 京都フィルとベートーヴェンの三重協奏曲を共演。近年は漆原啓子（ヴァイオリン）らとのカルテットでも活動。ピアノ五重奏団Mercedes ensembleのメンバー。これまでに、ヴァイオリンを小林武史、小林健次、徳永二男、シモン・ゴールドベルク、ザハール・ブロン、ルッジェーロ・リッチ、ゲルハルト・シュルツの各氏に師事。豊橋市文化振興特別賞受賞。ソロで4枚、室内楽では『チャイコフスキー：ピアノ三重奏曲「偉大な芸術家の思い出に」』、『フランク、グリーグ：ヴァイオリンソナタ』、『Chaconne～無窮の響き～』、『Estrellita～無窮の調べ～』の4枚のCDをリリース、大きな話題となる。完璧な技術に裏打ちされたその深く美しい音色は、聴衆を魅了し続け、共演者からも高い信頼を得ている。



Sohei Birmann
ビルマン 聡平
(ヴァイオリン)

3歳よりヴァイオリンを始める。東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業。同大学を経て、ローザンヌ高等音楽院卒業。同大学院修士課程修了。ローザンヌ（スイス）において Sinfonietta de Lausanneのアカデミー課程修了。8歳で京都音楽コンクール金賞奨励賞。全日本学生音楽コンクール（中学の部）第3位入賞。日本演奏家コンクール優勝。YBP国際コンクール優勝。大阪国際コンクール第3位入賞。すみだトリフォニーホール、八王子市民会館、東京オペラシティ、ひの煉瓦ホール等でソロリサイタルを開催し、好評を博す。ソリストとして、故田中千香士氏指揮のレボリュションアンサンブル、矢野正浩氏指揮Grand Gala Orchestra OSAKA、Alexander Mayer指揮のSinfonietta de Lausanne等と共演。ピエール・アモイアル氏率いるCamerata de Lausanneのメンバーとして、ローザンヌ、モスクワ、イスタンブール、パリ等ヨーロッパ各地において演奏会、ツアーを行う。その他にもソロコンサートや室内楽、コンサートマスターとしてなど、多数のコンサートに出演している。これまでに山本彰、工藤千博、澤和樹、清水高師、ピエール・アモイアル各氏に師事。現在、新日本フィルハーモニー交響楽団2ndヴァイオリン首席奏者。



Yasuhiro Suzuki
鈴木 康浩
(ヴィオラ)

5歳よりヴァイオリンを始める。辰巳明子氏に師事。桐朋女子高等学校音楽科（共学）を経て、桐朋学園大学卒業。読売新聞社新人演奏会出演。第47回全日本学生音楽コンクール東京大会高校の部第1位。卒業後ヴィオラに転向、岡田伸夫氏に師事。第9回日本クラシック音楽コンクール全国大会ヴィオラ部門最高位。第2回淡路市立しづかホールヴィオラコンクール第2位。第12回宝塚バグ音楽コンクール弦楽器部門第1位。2001年よりドイツのヘルベルト・フォン・カラヤン・アカデミーで研鑽を積み、その後ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の契約団員となる。2003年にはクラズィッシュェ・フィルハーモニー・ボンのソリストとして、ドイツ各地で演奏し好評を博す。2004年帰国、日本で活動を始める。ソロ活動として、東京オペラシティでの「B→C」に出演、リサイタル、ソリストとして読売日本交響楽団と共演、ヴァイオラスペースに出演。室内楽ではレガメ弦楽四重奏団のメンバーとしてカルテットの活動、王子ホールでの「MAROワールド」やランチタイムに行われる名曲シリーズ、JTアートホール室内楽シリーズに度々出演。その他にもサイトウ・キネン・フェスティバル松本、宮崎国際音楽祭等、多方面で活動中。フェリス学院大学の非常勤講師として後進の指導にも当たる。現在、読売日本交響楽団ソロ首席ヴィオラ奏者。



Marumo Sasaki
マルモ・ササキ
(チェロ)

音楽家の両親と共に4歳でイタリアに渡る。パドヴァ国立音楽院、ローザンヌ音楽院ヴィルトゥオーゾクラス、ベルリン国立芸術大学大学院ソリストクラス修了。W.ベッチャー、D.ゲリンガスなどに師事。ジェノヴァ国際チェロ・コンクール、アスペタルティ国際音楽コンクール他、多数優勝。チッタ・ディ・チェント・コンクール優勝、併せて報道特別賞を受賞。ローザンヌ室内管弦楽団、バーデン＝バーデン・フィルハーモニー管弦楽団等のソリストとして協演「サイクロンのように激しくダイナミックな演奏…多彩な音色…」“素晴らしい輝きを持って演奏した”と評される。ベルリン国立歌劇場管弦楽団（D.バレンボイム）に初のアジア人・永久正団員として在籍、フォアシュペラーも務めた。ソロCD「チェロペラ～歌劇場の思い出」をリリースし好評を得る。その他、P.ラクイダラー（伊）のアルバム「Para voce querido Cae」、姫神制作：白山 開山1300年祭記念「組曲白山」CD作成、「富士の星暦 サウンドトラック」レコーディングに参加。国内で「東京・春・音楽祭」「コバケンとその仲間たちオーケストラ（客演首席奏者）」、海外でもベルリン・フィルハーモニー・ホールで演奏、アメリカ、モロッコツアーを行うなど世界各地でソロ及び室内楽の演奏活動を行う。
www.marumosasaki.de

PROGRAM

- F.J. ハイドン：弦楽四重奏曲 第77番 ハ長調「皇帝」作品76-3
F. メンデルスゾーン：弦楽四重奏曲 第3番 ニ長調 作品44-1
F. シューベルト：弦楽四重奏曲 第14番 ニ短調 D810「死と乙女」

【新型コロナウイルス感染症対策について】新型コロナウイルス感染症予防及び感染拡大防止策を講じた上で実施いたします。公演内容は変更となる場合がございます。感染症対策及び公演に関する最新情報は主催者ホームページをご確認ください。

2023年2月7日(火) 18:15開場 / 19:00開演

会場：東京オペラシティ リサイタルホール
東京都新宿区西新宿 3-20-2 <https://www.operacity.jp/concert>

25th
Anniversary
Tokyo Opera City
Concert Hall (Reital Hall)

主催：公益財団法人
国際音楽芸術振興財団



《お申込・お問合せ》
<https://www.imusic-apf.org>

